

2019年度 自己点検・評価

国際アート&デザイン大学校

平成31年度 自己点検・評価結果

自己点検実施日 2020年8月6日

自己点検メンバー

学校長	双石 茂
副校長	高田 寿広
教務部長	佐藤 日和
事務局長	小野里 俊哉
学科長	丸山 悦代
学科長	三上 洋平
学科長	山田 直美
教員	宗形 優
教員	菅井 雄作
教員	矢田部 翔子
教員	渡邊 惇基
教員	志村 早織
職員	大橋 絵理奈

項目の重要度ランク	Aランク:設置基準レベル(専修学校として必須)
	Bランク:全国専門学校経営研究会加盟校目標
	Cランク:理想的な姿(努力目標)
項目の評価	4:適切
	3:ほぼ適切
	2:やや不適切
	1:不適切

1 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標		重要度 ランク	2017 評価	2018 評価	2019 評価	備考
教育理念(建学の精神)・目的・目標、育成人材像等が、明文化(文章等にまとめ他者が確認できる状態)しているか。 上記において職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容等を盛り込んでいるか	1 【学内】学生等に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか。(学生便覧等)	A	4	4	4	学生の手引き
	2 【学内】教職員に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか。(教職員手帳等)	B	4	4	4	学生の手引き
	3 【学外】学外の方に対して教育理念等を明文化し、公表しているか。(HP、パンフレット、募集要項等)	B	4	4	4	HP等
	4 【学内】各修業期間における教育目的・目標が文書化され、教育計画が文書化され、提示されているか。	C	3	3	4	学生の手引きで概略記載 シラバス、年間授業計画等
	5 【学外】各修業期間における教育目的・目標が文書化され、教育計画が文書化され、公表されているか。	C	3	3	3	シラバスに記載
【状況・改善点等】	<p><3> 次年度以降は学校便覧等作成の上、学外への好評を随時していくこととする。</p> <p><5> 概略内容を内部に伝えるのみとなっているため、より詳細な内容での文書化およびHPでの学外公表を次年度以降の改善点とする。</p>					

2 教育の内容		重要度 ランク	2017 評価	2018 評価	2019 評価	備考	
各学科の教育目標、育成人材像に向けたカリキュラムの作成等の取り組みがされているか。	1	育成人材像に向けた修業年限分のカリキュラムが文書化されているか。	B	4	4	4	カリキュラム表。
	2	カリキュラム作成のために複数のメンバーによりカリキュラムの作成が行われているか。(カリキュラム作成委員会等)	B	4	4	4	分野別会議にて。
	3	カリキュラム作成メンバーの中に高校生の現状、社会ニーズを反映させるために複数の内部職員をいれているか。	C	4	4	4	事務局長・広報担当。
	4	カリキュラム作成メンバーの中に業界関係者などの外部関係者をいれているか。またはその意見を取り入れているか。	C	4	4	4	
	5	シラバスあるいは講義要項等が作成されているか。	B	4	4	4	
	6	各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか。	C	3	3	3	
	7	各教員からカリキュラム・シラバスが提出され、とりまとめられているか。	B	4	4	4	
	8	シラバスあるいは講義要項等が事前に学生に配布されているか。	B	2	2	2	
各学科の教育目標、育成人材像に向けた教授学習プロセスの改善への取り組みがされているか。	9	学生によるアンケート等による授業評価が定期的に行われているか。	B	4	4	4	年2回実施。
	10	結果に基づく教員面接を実施しているか。	B	3	3	4	年2回実施。
	11	結果に基づく研修を実施しているか。	C	2	3	3	
	12	結果に基づく授業観察を実施しているか。	C	2	3	3	
	13	結果に基づく教員のレポート報告書、改善計画書等が作成されているか。	C	4	4	4	年2回実施。
	14	その評価結果をもとに改善活動をしているか。	B	2	3	3	
	15	授業改善のための組織的取り組みが行われているか。(授業改善委員会(FD)等)	C	2	2	2	
各学科の教育目標、育成人材像に向け業界ニーズに対応した付加的教育の取り組みがされているか。	16	企業・施設等での職場実習(インターンシップ含む)があるか。	B	4	4	4	
	17	キャリア教育などをおこなっているか。	C	4	4	4	就職実務、特別授業等。
	18	ビジネス教育をおこなっているか。	C	4	4	4	研修、授業実施。
	19	コミュニケーション能力の向上に向けた取組をおこなっているか。	C	4	4	4	実践行動学、イベント
	20	リメディアル教育をやっているか。	C	4	4	4	
	21	他の高等教育機関との連携講座等を行っているか。	C	2	2	2	
	22	企業・地域・行政との連携を図っているか。	C	4	4	4	職業実践専門課程、企業連携実習等。
各学科の教育目標、育成人材像に向け教員の資質維持や向上に向けた取組がされているか。	23	教職員の研修計画が作成されているか。	C	4	4	3	一部教員に限る。
	24	専門性や指導力等の把握や評価、維持、向上のための内部研修・研究を実施しているか。	C	4	4	3	プレゼン研修等の実施
	25	専門性や指導力等の維持や向上のための外部研修・研究へ派遣しているか。	B	4	4	3	一部教員に限る。
	26	専門性や指導力等の維持や向上のための自己啓発への時間的・財政的な支援をしているか。	C	3	3	3	資格取得奨励制度あり。
	27	非常勤講師との定期的な情報共有を図っているか。(ミーティング、報告書、教務日誌等)	B	4	4	4	日々の報告、授業日誌、例会。
【状況・改善点等】	<6・8> 次年度からは半期ごとに各学科の授業一覧で目的・内容・到達目標を明文化して学生に配布するように改善する。 <10・11・12・15> 授業アンケートに基づいた研修等は評価に基づいた一部教員にとどまり、また組織体制の整備は万全ではない。 <21> 講座数が少ないのが現状である。カリキュラムを見直し、講座数を増やすことを現在検討している。						

3 教育の実施体制			重要度 ランク	2017 評価	2018 評価	2019 評価	備考
各学科の教育目標、育人材像に向けて教育環境が整備・活用されているか。	1	組織機能図があるか。	A	4	4	4	職員会資料、HP。
	2	学校の年間スケジュールはあるか。	A	4	4	4	サーバーにて閲覧可能。
	3	図書室・図書コーナー等があるか。	C	4	4	3	各学科、教室に図書コーナーを設置
	4	学生が利用できる参考図書、関連図書は備えられているか。	C	3	3	3	学校常備の図書は少ない。
	5	就職支援を行う指定された場所があるか。	B	4	4	3	就職に関して教務室にて指導を実施。
	6	分煙・禁煙等に関する規定が文書化・掲示されているか。	B	4	4	4	学生の手引き。
	7	環境エコ活動(節電・ゴミ分別・節水)に関する規定が文書化・掲示されているか。	B	4	4	4	学生の手引き。
	8	学内の整理・整頓・清掃に関するルール等が文書化されているか。	B	4	4	4	学生の手引き。
	9	学内の整理・整頓・清掃に関して定期的に管理、チェックがされているか。	B	4	4	4	月2回実施。
	10	学内外実習時の安全対策に関して文書化されているか。	B	3	3	3	学生の手引き。インターンシップ等での事前資料配布。
	11	学校生活(実習・行事・学外活動等)において保険に加入しているか。	A	4	4	4	学生総合保障制度。
	12	防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備システム等)が整備・点検されているか。	A	4	4	4	外部委託業者にて。
	13	学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか。	A	3	3	4	施設は外部委託業者にて。備品は年1回点検。
【状況・改善点等】	<3・4> 専門の図書室を設置していないが、各学科で必要図書を設置。また、現状はインターネット等で調べるのが主流で、各学科での専門書(画集など)のみを残して展示、閲覧できるようになっている。 <10> インターンシップでの注意点を示した文章がまだ不十分であるため、次年度以降作成し、全ての学生へ配布するように改善する。						

4 教育目標の達成度と教育効果		重要度 ランク	2017 評価	2018 評価	2019 評価	備考	
各学科の教育目標、育成人材像に向けてその達成への取り組みと評価がされているか。	1	学生の就職に関する目標を設定したか。	A	4	4	4	毎年度末、翌年度に向けた目標を設定。
	2	学生の就職に関する目標に対して教職員に共有されているか。	B	4	4	4	目標設定シート 職員会資料。
	3	学生の就職活動に関する記録がなされているか。	B	4	4	4	各種報告書にて管理。
	4	学生の就職結果に関して検証・報告がされたか。	C	4	4	4	報告書・進捗会議にて。
	5	対外部に向けた就職実績を公表しているか。(パンフレット、HP等)	B	4	4	4	パンフ・HP・1Fロビーへ掲示。 出身校への報告資料。
	6	学生毎の記録簿が作成され、個々に対する能力(評価・成績)に対して目標を都度設定しているか。	A	4	4	4	
	7	評価・成績に関する目標に対して教職員に共有されているか。	B	4	4	4	
	8	評価表・成績表など客観的判断のできる記録がなされているか。	B	4	4	4	評価表。
	9	評価・成績に関して検証・報告がされているか。	C	4	4	4	
	10	資格・検定・コンペに関する目標を設定したか。	A	4	4	4	毎年度末、翌年度に向けた目標を設定。
	11	資格・検定・コンペに関する目標・計画が教職員に共有されているか。	B	4	4	4	目標設定シート 職員会資料。
	12	資格・検定・コンペ結果に関して検証・報告がされたか。	C	4	4	4	検証はするが、計画表などはなし。
	13	資格・検定・コンペの結果を公表しているか。	B	4	4	4	パンフ・HP等。 出身校への報告資料。
	14	卒業率の目標を設定しているか。	A	4	4	4	毎年度末、翌年度に向けた目標を設定。
	15	卒業率に関する目標・計画が教職員に共有されているか。	B	4	4	4	目標設定シート 職員会資料。
	16	卒業生数の結果に関して検証・報告がされたか。	C	4	4	4	年度報告書
	17	卒業率を公表しているか。	C	3	3	2	
	18	卒業生の進路・就職先等の記録がなされているか。	C	4	4	4	
	19	卒業生の進路・就職先を公表しているか。	C	4	4	4	パンフ・HP。 出身校への報告資料。
	20	卒業生の1年後の就業状況を把握しているか。	C	2	2	2	一部不明な学生あり。
	21	卒業生の1年後の就業状況を公表しているか。	C	1	1	1	
	22	専門職内定率を公表しているか。	C			1	
【状況・改善点等】	<17> 卒業率、退学率を積極的に発信はしていないが、学生便覧等新たに作成し、公表していくように改善する。 <20・21> 各学科担任より、電話、SNS連絡により状況の把握に努め改善する。 <22> 学校便覧等での公表に向け、改善していく。						

5 学生支援			重要度 ランク	2017 評価	2018 評価	2019 評価	備考
各学科の教育目標、育成人材像に向けて入学前から卒業後まで学生支援が整備され組織的に行われているか(入学前)	1	学校案内等には育成人材像が明示されているか。	A	4	4	4	
	2	学校案内等には目指す資格・検定・コンペが明示されているか。	A	4	4	4	
	3	学校案内等には学費・教材費等が明示されているか。	A	4	4	4	募集要項。
	4	学校案内等には選抜方法が明示されているか。	A	4	4	4	募集要項。
	5	入学に関する問い合わせ等に適切に対応できる体制ができていますか。	A	4	4	4	入試相談、学費サポートセンターの担当を配置。
	6	学校説明会等による情報提供(上記1から4)を行っているか。	A	4	4	4	
	7	入学予定者に対し学習指導・支援等が行われているか。	C	4	4	3	プレオリテ、卒修作品展招聘等。
	8	入学者に対し学習、学生生活のためのオリエンテーションが行われているか。	B	4	4	4	入学前オリテ実施(3月)。
各学科の教育目標、育成人材像に向けて入学前から卒業後まで学生支援が整備され組織的に行われているか(在学時)	9	担任による面談が定期的に行われているか。	B	4	4	4	必要に応じ随時実施。
	10	キャリアサポート関連の有資格者(キャリアカウンセラー・キャリアコンサルタント・産業カウンセラー等)がいるか。	C	4	4	2	キャリア推進事業部がある。
	11	担任以外に学生の健康管理・メンタルヘルスについて相談できる担当者がいるか。	C	4	4	4	スクールカウンセラー配置。
	12	学生指導に関する教職員の相談に応じる相談窓口が周知されているか。	C	4	4	3	
	13	学生指導に関する教職員の相談に応じる体制があるか。	C	4	4	3	学科長、教務部長、副校長の上級職で対応。
	14	学生の面談・相談記録があるか。	B	4	4	4	学生指導記録。
	15	定期的に健康診断を行っているか。	A	4	4	4	年1回実施。
	16	奨学金制度等の経済的支援があるか。	A	4	4	4	日本学生支援機構、独自の制度もあり。
	17	保護者との計画的な相談会・面談を行っているか。	B	4	4	4	年1回ほか必要に応じ。
各学科の教育目標、育成人材像に向けて入学前から卒業後まで学生支援が整備され組織的に行われているか(卒業後)	18	卒業生の会(同窓会等)はあるか。	C	4	4	4	
	19	卒業生への職業紹介をしているか。	B	3	3	3	希望者に対して実施。
	20	卒業生への講習・研修を行っているか。	C	3	3	1	
	21	卒業生の就業先への定期的な訪問をしているか。	C	3	3	2	一部地元企業に限る。
	22	学校情報を卒業生に知らせているか。(HP、学校便り等)	C	4	4	4	同窓会HP、会報紙。
上記以外を通じての学生支援	23	保護者の会(後援会等)はあるか。	C	1	1	1	
	24	企業の会(就職後援会等)はあるか。	C	1	1	1	
	25	学校情報を保護者に知らせているか。(HP、学校便り等)	C	4	4	2	HP、SNS発信。
	26	学校情報を高等学校等に知らせているか。(学校便り、DVD等)	C	4	4	4	卒業生・在校生状況資料、HP等。
	27	学校情報を企業等に知らせているか。(学校便り、DVD等)	C	4	4	4	求人案内・HP。
【状況・改善点等】	<10> 校内には常駐していない。 <20> 校友会等の同窓会を活用し、講習・研修を実施するように改善する。 <21> 全ての就職先を訪問してはいない。県外の就職先訪問は時間・コストの問題より難しいのが現状である。 <23・24> 保護者の意向もあるため、会発足には検討が必要。 企業の会は組織化されたものはないが、各企業、協会との連携推進は相当に進んでいる。 <25> 2020年度より月2回のメール配信で学校状況等の発信を実施している。						

6 社会的活動			重要度 ランク	2017 評価	2018 評価	2019 評価	備考
意図的・計画的・組織的に社会活動への取組が推進されているか	1	目標・計画に基づく社会的活動(地域活動、地域貢献、ボランティア活動等)を実施しているか。	C	4	4	4	年間計画にて実施。
	2	地域社会の行政、商工業、教育機関、文化団体等へ加盟をしているか。	B	4	4	4	県専各連、商工会、国際交流協会等に加盟。
	3	上記において定期的な会合に参加しているか。	B	4	4	4	上級職を中心として、参加に注力している。
	4	教育資源(施設・設備の開放・教職員の出張講座等)を地域社会に提供しているか。	B	4	4	4	小中学生の見学受け入れ、出前講座、検定会場等。
	5	社会的活動(地域活動、地域貢献、ボランティア活動等)を評価・単位認定をしているか。	C	4	4	4	産学官連携実習の評価を実施。
	6	地域貢献を目的とした公開講座等を実施しているか。	C	4	4	3	アートクリエイター教室等
【状況・改善点等】	<5・6> 頻度ではそこまで高くはないが、通常の授業、教職員の負担を考えると現実的に現状以上に増やすのは厳しいと判断している。						

7 管理運営			重要度 ランク	2017 評価	2018 評価	2019 評価	備考
学校の管理・運営体制が確立していること	1	理事会が定期的開催されているか。	A	4	4	4	
	2	評議員会が定期的開催されているか。	A	4	4	4	
	3	理事会・評議員会の議事録は公開されているか。	A	4	4	4	
	4	運営会議(教職員会議・教員会議等)が定期的開催されているか。	B	4	4	4	全体職員会を2回、上級職による定期例会等を毎月実施。
	5	組織の構成員のそれぞれの職務分掌が文書化されているか。	A	4	4	4	校務分掌。
	6	決裁規程が文書化されているか。	B	4	4	4	規定様式あり。
	7	人事規程が文書化されているか。	B	4	4	4	規定便覧。
	8	人事考課制度は文書化されているか。	B	4	4	4	
	9	昇進・昇格制度は文書化されているか。	B	4	4	4	
	10	賃金制度は文書化されているか。	A	4	4	4	
	11	採用制度は文書化されているか。	B	4	4	4	
	12	防災・防犯・非常時対策に対して文書化されているか。	A	4	4	4	消防計画。
	13	防災・防犯対策に対して組織化されているか。	A	3	4	4	消防計画書内組織図。
	14	定期的に防災訓練を実施しているか。	A	4	4	4	年1回避難訓練。
	15	個人情報保護規程が文書化されているか。	A	4	4	4	学生の手引き、募集要項に記載。
	16	ハラスメントに関する規定が文書化されているか。	B	4	4	4	学生の手引き。 規定便覧。
	17	公印管理簿があるか。	B	4	4	4	
	18	出退勤管理簿があるか。	A	4	4	4	
	19	受信・発信簿があるか。	A	3	2	2	
	20	SD(スタッフディベロップメント)に関する計画・実施されているか。	C	4	4	3	本部人材開発部にて。
	21	教職員の健康診断がされているか。	A	4	4	4	年1回実施。
【状況・改善点等】	<15> HPIにて明文化し公表するように改善する。 <19> 現在対応ができていないため、受信発信簿の作成を行い、改善に努める。 <20> 計画等はあるが、回数が少ないため機会を増やすことで改善に努める。						

8 財務			重要度 ランク	2017 評価	2018 評価	2019 評価	備考
財務体質が健全であり財務運営が適切に行われているか	1	年度予算、中期計画が策定されているか。	A	4	4	4	中期は5か年計画。
	2	予算は計画に従って妥当に執行されているか定期的に確認しているか。	B	4	4	4	毎月初に確認。
	3	会計監査(内部・外部)体制のルールが明確化されているか。	B	4	4	4	本部経理部により。
	4	会計監査(月次決算書等)の結果報告が文書等にて明確化されているか。	B	4	4	4	月次報告書にて。
	5	私立学校法における財務情報公開の体制整備はできているか。	A	4	4	4	本部経理部により。
	6	固定資産管理規程が文書化されているか。	B	4	4	4	本部経理部により。
	7	図書管理規程(養成施設等)が文書化されているか。	C	3	3	1	なし。
	8	物品(消耗品、貯蔵品等)等の在庫管理をしているか。	B	4	4	3	学校内担当により。
	9	施設設備の保守・管理が定期的に行われているか。	A	4	4	4	委託外部業者により。
	10	物品購入等における複数業者からの確認がされているか。	B	3	3	3	相見積りが原則ルール。
【状況・改善点等】	<7> 現状存在しない。次年度に向け文書化を行う。 <8> 日常消耗品は帳簿等で管理していないため、今後への課題とする。 <10> 高額商品については相見積もりを必ず取るが、消耗品等の少額商品についてはその限りではない。						

9 改革・改善			重要度 ランク	2017 評価	2018 評価	2019 評価	備考
各学科の教育目標、育成人材像に向けて自己点検・評価活動の実施体制が確立して改革・改善のためのシステム構築がされているか	1	自己点検・評価を適正に実施運用するためのルールが文書化されているか。	B	4	4	4	本資料に基づき
	2	自己点検・評価の組織があるか。	B	4	4	4	学校三役。
	3	評価・改善を行うための組織があるか。	C	4	4	4	関係者評価委員。
	4	自己点検・評価の必要性を教職員に伝える機会を設けたか。	A	4	4	2	次年度以降職員会にて実施。
	5	自己点検・評価の結果を教職員で共有する機会を設けたか。	B	4	4	2	次年度以降職員会にて実施。
	6	自己点検・評価の結果に基づき改善計画を策定したか。	B	4	4	4	
	7	自己点検・評価の改善計画に基づいた結果の検証がされたか。	B	4	4	4	
	8	自己点検・評価報告書があるか。	B	4	4	4	
	9	自己点検・評価報告書が公表されているか。	C	4	4	4	HP上で公開。
【状況・改善点等】	<1> 本文書が該当すると判断する。 <3> 外部委員による組織を設けているが、メンバーが少ないのが現状である。振り返りの全体職員会を実施。 <4.5> 職員会を設定して年間1回以上の実施。 <6> 改善計画の策定はしていないが、改善に向けた取り組みは実施している。 <7> 改善結果に基づいた検証は行っている。						